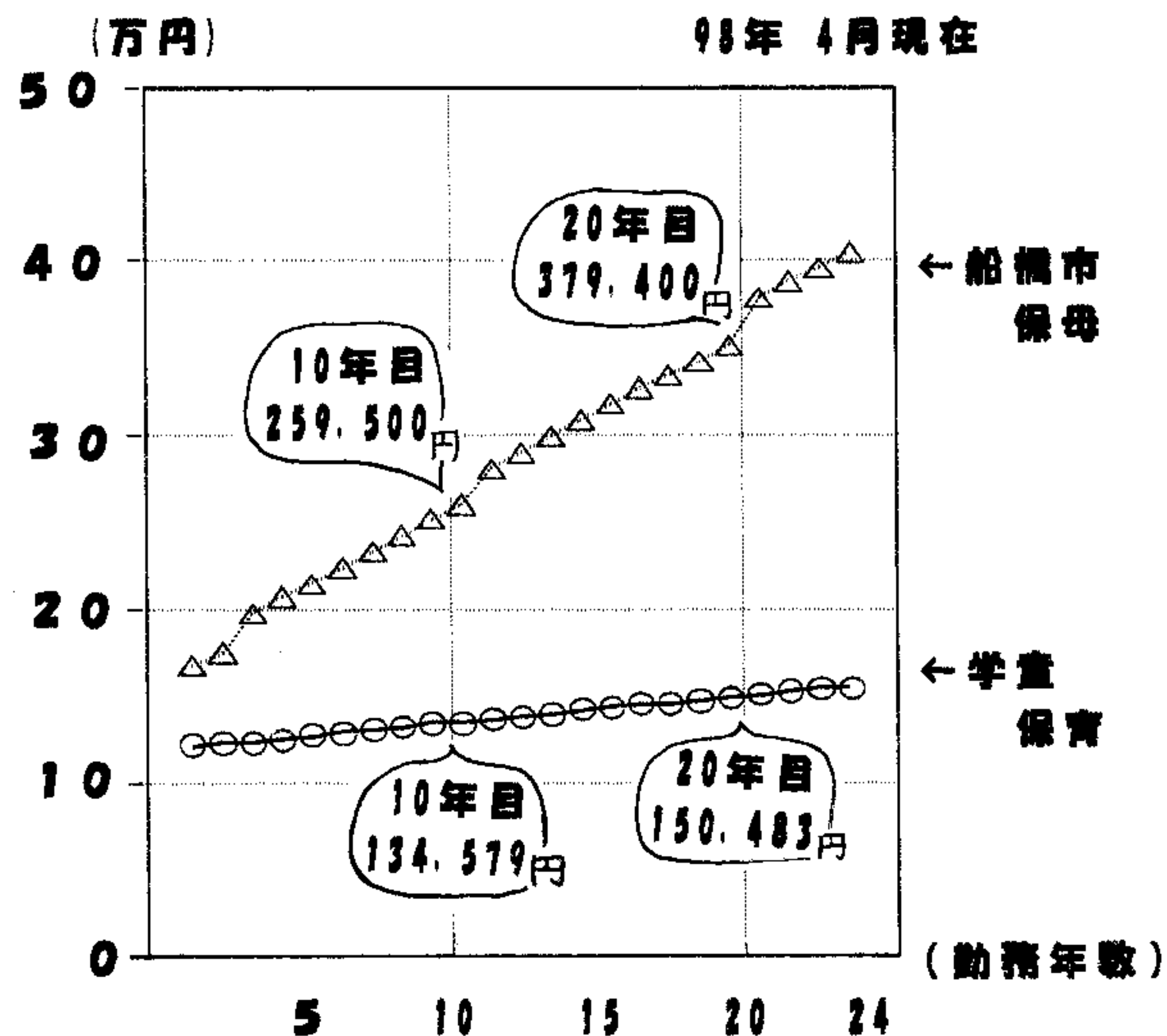


# やりがいのある この仕事が大好き！ だけど…この条件では暮らしていけない

船橋市職員保母（短大卒）と学童保育指導員の基本給比較



市の委託料が少ないため、指導員の人件費は左表にあるように著しく低い水準にとどまっています。  
 その上、雇用関係すらはっきりしていません。

このため、長期にわたって働き続けられず、勤続年数3年未満の指導員がおよそ半数を占めています。

指導員の定着は、子どもたちの豊かな生活づくりに深く関わっています。

指導員の仕事は、年間1800時間にも及び、また、子どもの放課後・学校休業中の生活に責任を持つという性格上、とても片手間でできるものではありません。

私たちは公設公営にあたって、指導員を市の正規職員として位置づけ、指導員の処遇を抜本的に改善することを求めています。

学童保育公設公営にあたって正規職員化を！

公設公営で私たちの望む

学童保育を！！ 1998.12.10

No. 1 1



《連絡先》 市連協事務所 船橋市西船2-2-21

## 家庭をもつようになってからも 生計をたてていけるか不安です



仕事を始めてから、今年の10月で3年目になりました。小学校の教員志望でしたが、指導員を続けていくうち、徐々にやりがいを感じるようになってきました。今はこの仕事で、これからも生活をしていきたいと思っています。しかし、現在経済的に独立することは難しく、情けないと思いながらも親の世話になっています。将来家庭をもつようになった時、生計をたてていけるか不安です。指導員に男性がすくないというのも、この事が大きく影響しているのだと思います。2000年の公設公営に期待します。

[勤続3年目 26歳 男性指導員]

## 病気になって社会保障の



## 必要性を実感しました

体調を崩して二週間の入院。20万円近い入院費は、給与のおよそ2ヶ月分にあたります。現在も通院しているため、一回につき診察代・薬代で5000円以上かかります。私の勤める学童保育は、財政的に非常に厳しい状況にありながら、入院期間中も病気休暇として基本給を支給してくれました。休暇中の指導員体制を確保するために、赤字額を増やしてしまい父母には申し訳なく思っています。病気になっても働き続けられるよう、社会保障をしっかりとしてほしいと思います。

[勤続2年目 26歳 女性指導員]

## 食費に2~3万円しか つかえない



私は、独立して生活しています。家賃や光熱費・保険・年金などで、給料の4分の3以上が引かれ、手元に残るお金はわずか。その中から食費・その他必要経費を支払い、貯蓄する余裕がないという生活状況です。特に将来のことを考えると不安を感じています。安定した生活設計を営むためにも是非、指導員の正規職員化をお願いします。

[勤続3年目 23歳 女性指導員]



船橋市学童保育連絡協議会  
船橋市学童保育指導員労組